



## 他人と戦わない受験

(続き) 大学にはほとんどいなかったし、世間から、はぐれていました。3年くらいマージャンをしていたら、気づいたら周りは就活か大学院の受験勉強をしている状態だったんですよ。で、「どうしよう」。でも決められない。

そこで、万が一弁護士になりたくなったときのためにロースクール(法科大学院)に行こうと思ったんですね。ところが、進学すると、これはダメだと思いました。すむ世界が違うと。

### ■夢がない人こそ受験を頑張って

みんなすごく勉強するし、熱意も話していることも全然違う。成績はそこまで悪くなかったのですが、やればやるほど「私のいるところは、ここじゃないかも」と感じました。初めて将来のことを真剣に考えました。遅い。

マージャンだけは小さいころも、大学生になってからも、ロースクールに入ってからでも続けてきたことでした。これが仕事になったら面白いなと思いました。プロ試験の受験は大学在学中からも勧められていて、興味はあったのです。ロースクールを卒業した際に「今ならできる」と考えて受けました。

昔から「夢って職業だけじゃない」と思っていました。私の夢は、死ぬまで笑って楽しく過ごすことだったんです。それってイコール職業ではないじゃないですか。夢について考えたとき、こういう道もあるのではと決めたのがマージャンプロでした。

大学には行ってよかったです。マージャンプロになってから、「京都大学卒」ということで取り上げてもらうことがすごく多くて。おかげさまで1年目からいろんなメディアに出たり仕事をいただいたりしました。無駄じゃなかった。

ロースクールの時代はしんどかったし、いや

だったんですが、その時期がなかったら私はいまマージャンプロになっていません。だから、大学院も無駄ではありませんでした。

夢がある人、最短ルートがある人はそちらに進めばいい。受験は、やりたいことが分からない人こそやるべきだと思います。そういう人こそ、頑張っている大学を目指すべきです。最終目標は夢をかなえることで、受験はあくまでも手段です。

### ■受験は「戦わないで」

受験をあまり大げさにとらえないで欲しいと思います。ただでさえ大変なことをしているんだから、人と戦わなくていいし、自分とも戦わなくていい。

受験は最後の試験で合格水準より1点でも上になればいいというルールです。だから、人と争うのではなく、あくまでも自分と向き合ってそのラインを超えるように頑張ろうと思っていました。

あとは自分を大事にしてあげる。楽しむのは全然悪じゃないです。たとえば予備校でイケメンの人を見つけるとか、塾の食堂の美味しいメニューを見つけるとか。小さい楽しみをみつけてモチベーションを上げる。

必ずしも机に座って勉強しなくてもいい。寝転がって勉強しても別にいい。型にはめずに楽しく勉強してほしいですね。

\*

松嶋さんは、一度決めたら、その実現に向けて着実に実行してゆく力を持っている人のようだ。だから、他人と争わなくても自分を高めていけるのだろう。勉強の仕方など、参考になることも多いのではないかな。